

新潟労福協

No10 2012年7月30日

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
E-mail: ni-rfk@bz04.plala.or.jp
URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>
発行責任者 山田 太郎

新潟県パーソナル・サポート・サービスセンター 新潟・長岡の2拠点で生活・就労支援事業をスタート！

パーソナル・サポート・サービス（PS）の第3次モデル事業として、県より委託を受けた新潟労福協は、6月4日「新潟県パーソナル・サポートセンター」の開所式を行いました。

さまざまな就労阻害要因を抱えた生活困窮者を対象に専門スタッフが相談にあたり、生活と就労の両面から相談者の自立をサポートしていくという極めて社会性の高い事業のスタートとなりました。

開所式には委託団体として県福祉保健部・渡邊副部長をはじめ、関係する行政機関のほか、NPO、市民活動団体、労働団体、労働福祉事業団体などから約50人が出席。来賓には、新潟労働局職業安定部の雨谷部長、連合新潟・齋藤会長、総合生協・田才理事長、労働金庫・上田営業部長を招き、式典に先立ち、オープニングとしてテープカットのセレモニーを行いました。

労福協を代表して江花理事長より、「この間、指導いただいた県への御礼、包摂する社会へのシステ



ムづくりとしてPS事業を成功させたいこと、そのため官民の垣根を越えたネットワークを構築し、各団体の抱えている課題を寄せ合い協力をいただき労福協が力をつけていきたい」との主催者挨拶がされました。来賓あいさつでは、県内の厳しい雇用情勢をふまえPS事業の果す役割への期待と受託した労福協への激励等をいただきました。

PS事業は、新潟市と長岡市の2カ所の拠点で県内全域を対象に事業を進めていくこととなり、専門資格や相談経験のあるスタッフ11名が配置され、平日の9時30分から16時30分まで相談を受け付けています。今後は、PS事業連絡会における支援体制の構築や行政や関係機関との連携を進めていくこととなります。

「パーソナル・サポーター(PS)」 支援プロセス



仕事や暮らしのことで
困ったら…相談無料
パーソナルサポートセンターへ

2012国際協同組合年事業 連帯経済における協同組合の新たな展開



（高木郁朗氏）

新潟県労福協は4月25日、協同組合の新たな展開に関する研究委員会」の報告勉強会を開催しました。

2012国際協同組合年事業と位置付け、①協同

組合年の目的（協同組合の社会的意義を広め、政策整備をはかる）に資するとともに、②協同組合に期待される新たな社会的役割について認識を深め合うため少人数で内容の濃い勉強会を企画しました。

県内の協同組合関係者、NPO関係など、労福協以外へ団体へ呼びかけ、中でも行政関係者（新潟県・新潟市）が参加したことは大きな成果といえます。

研究委員会主査の高木郁朗氏から報告書の内容を中心に講演を受けて意見交換を行い、共助・共益の協同組合が公益を担い、社会的目的につながる事業を発展させていく可能性、「社会運動を事業化する」ことについて議論しました。

県内で取り組んでいる事例報告では、東日本大震災の救援・復旧活動で活躍した協同組合が今後さら



に復興再生の段階で大きな役割を果たすこと、労働者協同組合若者就労支援と雇用創出の取り組み、仕事・福祉・生きがいを総合的に取り組む「ささえあいコミュニティ生協」の事業が報告されました。

就労（就業）創出においても協同組合への期待は大きなものがあり、この研究委員会報告書をお蔵入りにせず、提言を具体化につなげる取り組みこそが重要となってきます。

労福協第29回定時総会 県LSC第5回通常総会



6月8日、新潟東映ホテルにおいて、労福協第29回定時総会と県ライフサポートセンター第5回通常総会が102名参加する中で開催されました。労福協総会は、この1年間の活動を振り返り、地区労福協の組織を整備し、勤労者の生活安定と経済的・社会的地位の向上に寄与する様々な活動を展開することを確認しました。中でも6月に県から受託したパーソナル・サポート事業は、昨今の厳しい雇用情勢の中で生活と就労を支援するという極めて社会性の高い意義ある事業です。

新潟市と長岡市の2ヵ所での事業をスタートしていますが、行政機関や専門家団体、市民活動団体など、官民の垣根を越えた幅広いネットワークの構築が不可欠となります。

その後、中央労福協・高橋均参与（前事務局長）による「労福協の理念と2020年ビジョン」をテーマに、2012年国際協同組合年を契機に労働組合と協同組合の関係がさらに強化されることに期待する内容の講演をいただきました。

引き続いて、県LSC第5回通常総会が開催され、現在の5ヵ年計画最終年度の活動と2013年度からスタートする第二次5ヵ年計画（基本方針）の事業方針が確認されました。両総会の役員改選では、連合新潟の会長時代から理事長職を務めていただいた江花和郎氏が両総会で理事長を退任され、新たに労福協・県LSCの理事長に齋藤敏明氏（連合新潟会長）が就任されました。



（江花前理事長）



（高橋参与）



（齋藤新理事長）

県央地区労福協設立総会 県央LSC第2回通常総会

5月9日（水）三条市勤労福祉会館において、県央LSC第2回通常総会が開催され、立ち上げからこの1年を総括し、県央地域で「労働者・生活者の拠り所」として「支え合いと助け合い」が目に見える形としての活動を充実させる事業方針と新体制が確立されました。

引き続いて、これまでの懸案事項であった県央地区労福協設立総会が開催されました。設立総会では、県労福協と一体となって、県央地域の労働者・生活者の生活安定と福祉の向上をめざし、LSC事業を軸とした運動の地域展開を図ることが確認されました。

<2012年度新役員体制>

会 長	海津 武彦	連合県央地協
副 会 長	清水 明	労金三条支店
副 会 長	吉田 紀夫	総合生協県央支局
事務局長	佐藤 春男	連合県央地協

ながおかLSC通常総会の開催 みつけサテライト //

2012年度「ながおかLSC通常総会」が6月13日（水）長岡市勤労会館で開催されました。「ながおかLSC」は、県内最多の相談件数の実績を上げており、今後も組織・団体とのネットワーク化、協働した新しい価値観の創造、行政・企業も



含めた様々な形態の自立ある地域再生をめざし、人と組織のネットワーク強化のレベルアップをめざすことが確認されました。

2012年度の事業方針では、相談受け付け体制の強化、相談事業のPR活動強化、応援団との連携、サポートのネットワーク化を確認し、相談者にとってより良い事業をめざす方針が確認されました。また、6月から事業活動をスタートした長岡パーソナル・サポートセンターが同じ勤労会館内ということもあり、より連携した活動が期待されます。

また、6月23日、「みつけサテライト」の通常

総会がLSC見附事務所で開催され、相談件数増に向けたPR活動の強化、「みつけ元気助け合いの会」を軸に、地域貢献活動を更に強化し、市民に信頼されるLSCをめざすことが確認されました。

新潟地区労福協第22回総会

2012年6月11日（日）、ガレソンホールにおいて、新潟地区労福協第22回総会が開催されました。

総会では、ライフサポート事業を中心とした1年間の事業活動報告と2012年度の活動方針について意思統一をはかりました。

とりわけ6月から開設された新潟パーソナル・サポートセンター事業との関係について、連合地協・地区労福協とLSCとPS事業展開の位置づけや具体的な関わり方についての確認がされました。

下越地区労福協設立総会

5月16日（水）総合生協下越支局会館において、下越地区労福協の設立総会が開催されました。

設立総会では、下越地区の労働者、地域生活者の経済的、社会的地位の向上に寄与することを目的に、今年度については、「暮らし何でも相談」「講演会及びセミナー」「レクリエーション」「新春賀詞交換会」等の活動が確認されました。

<2012年度新役員体制>

会 長	小林 久志	連合下越地協
副 会 長	栗林 良一	労金新発田支店
副 会 長	佐藤 龍弥	総合生協下越支局
副 会 長	中川 三七	新発田地域高齢協
事務局長	久志田 実	連合下越地協

**総合生協の
夕食宅配**

栄養バランスに配慮した夕食を
日替わりメニューで毎日（月～金）
自宅へお届けします。

●お弁当コース
1食あたり540円

●おかずコース
1食あたり580円

お問い合わせ・お申し込みはコールセンターまで

0120-025-261

第19回ハバロフスク 少年少女使節団が来日

交流期間 2012年7月3日(火)～7月10日(火)8日間
来日者 引率者3名、児童15名 計18名

ハバロフスクの少年少女使節団が来日しました。

今年度は、新潟・ハバの直通便が休止中のため、成田経由での来日となりました。

新潟市立高志中等教育学校を訪問し、学校の説明、「書道」の授業、その後、各学年のクラスに分かれ給食を一緒にとりながら交流を深めました。

ハバロフスクの児童たちは、日本文化の「書道」を高志中等の生徒から習い、楽しそうに異文化を体験していました。また、日本海マリンピアや県立自然科学館、アクアプールを訪れました。

交流の後半は、県立こども自然王国(旧高柳町)で体験学習(和紙のコースター作り、オカリナ・ジェルキャンドル・笹団子づくり)に挑戦しました。また、同施設を訪れていた日本の子供たちとスポーツやゲームで交流し、最終日はディズニーランドを訪れ日本を満喫し帰国しました。



第12次黒龍江省総工会訪問 代表団5名を派遣!

第12次中国黒龍江省総工会との協定に基づく定期交流が5月23日～28日の日程で開催され、労福協から5名の代表団が表敬訪問しました。今年は、「日中国交正常化」の調印から40周年の節目にあたり、両国では相互理解の増進を目的として官民一体となった記念行事も予定されています。

また、2012年は国連が決議した国際協同組合年

にあたり、「格差と貧困」、「生活・就労」問題に労働組合・協同組合が大きな力を発揮していくことが求められていることなど、記念すべき年の意義ある交流となりました。

総工会幹部との交流では、中国の社会情勢や労働者をとりまく状況、労働者の社会的地位の向上、労働組合(総工会)が抱えている課題等を中心に責任者から説明を受け、意見交換させていただきました。

黒龍江省総工会との交流は、歴史も長く今年で31年目を迎えましたが、こうした民間レベル、地方レベルの交流が長く続くことが両国の関係発展に寄与するものと確信し、今後も交流を通してお互いを理解し合い労福協と総工会の絆をより強いものにしていきたいものと願っています。



働くことを
軸とする
安心社会
にむけて



一般社団法人新潟県労福協 新理事長紹介と決意



新潟県労福協
理事長
齋藤 敏明

6月8日開催の新潟県労福協第29回定時総会、ライフ・サポート・センター（LSC）第5回通常総会で、労福協ならびにLSCの理事長を江花前理事長から引継ぎました齋藤敏明でございます。連合新潟会長との兼務ですので、事務局専従の山田専務、大瀧、小野塚両事務局長をはじめ、各地区労福協・LSCの役員・アドバイザーの皆さんの協力により、総力戦で事業を進めていく所存です。

現在、労福協では、地区労福協体制を県下7カ所にある連合新潟の地域協議会を単位に再整備を進めており、残るは現地対応を進めている佐渡となりました。一方、当面存続する糸魚川を除き、連合中越地協エリアのおぢや、北魚沼、南魚沼、十日町のLSC事業を集約したことから、早い時期に地区労福協の廃止に向けて当該地区と対応していくことにしております。

体制整備と同時に県労福協と地区労福協の関係整備も急がなければなりませんし、広げてきた事業をしっかりと軌道に乗せていくことが求められています。事業の大きな柱であるLSC事業は、スタートして5年目に入り、年頭には県下全域をカバーする拠点の設置が完了しました。県民からのよろず相談の受け皿として、また地域の拠り所として、地域に根ざした取り組みを進めており、この1年での相談件数も1,200件を超え、その存在感が高まっています。

また、6月4日には国の事業である、寄添い型・伴走型の生活・就労支援の「パーソナル・サポート・サービス事業」を県労福協が新潟県から受託し、新潟、長岡の「パーソナル・サポート・センター」での活動がスタートしました。

これらの事業を進めていくには、会員団体が力を合わせ、県下をカバーする各地区労福協・LSCの連携した取り組みが必要ですし、皆さんからの情報発信・収集も重要です。

県内で働き、暮らす多くの人の支えとなる労福協運動。さらに充実・発展させていくため、皆さんの知恵と力が必要です。労福協ならびにLSCをはじめとした事業の充実・強化に向けた取り組みへのご理解・ご協力をお願いいたします。

下越ライフサポートセンター 第3回通常総会の開催

6月29日、下越ライフサポートセンター第3回通常総会が新発田市カルチャーセンターで開催されました。2010年3月から県の「ふるさと雇用再生特別基金」の活用により事業をスタートしてきましたが、3月末をもって終了しました。今年度から他のLSCと同様、県LSCの業務委託費の交付により活動を継続することとなりました。近山理事長からは、「2年経過したが、LSCはまだ地域に認知されるまでには至っておらず、引き続き周知活動を中心にチラシのポスティング活動と地域の市民活動団体、NPO団体との連携を深めていきたい。」との挨拶がありました。

<2012年度新役員体制>

理事長	小林 久志	連合下越地協
副理事長	渡邊 明	〃
事務局長	久志田 実	〃
理事	若干名	

<第25回新潟県 労福協チャリティゴルフ大会>

チャリティ金は、東日本大震災の義援金へ

開催日	2012年5月15日（火）
会場	フォレストカントリー倶楽部
主催	一般社団法人新潟県労働者福祉協議



5月25日フォレストカントリー倶楽部にて第24回チャリティゴルフ大会が県労福協主催で開催されました。

参加者49名は、日頃、鍛練された腕前を発揮し、珍プレー、迷プレーなど交流と友好を深めあうことで出来ました。参加者の厚意により集まったチャリティ金71,500円に労福協の寄付金等を合算して、昨年同様、東日本大震災への義援金としました。

<大会の上位入賞者>

東コース優勝	江花 和郎	労福協
西コース優勝	上野 浩二	情報労連
総合 準優勝	小池 克彦	JAM新潟
総合 三位	涌井 明	交通労連
東コースベスト	山崎 豊作	JR総連
西コースベスト	山田 寿	自治労

2012中央労福協全国研究集会 協同組合の社会的役割と価値を考察

中央労福協主催の全国研究集会が、6月1日～2日の



2日間、長野市「ホテル国際21」で開催されました。今年度は、国連の定めた国際協同組合年にあたり、「協同組合の社会的役割と価値を考察する」のテーマに基づく研究集会となりました。

特別講演Ⅰとして、明治大学の中川雄一郎教授より『国際協同組合年における協同組合への期待』と題して、世界を含めた大局的な観点から協同組合の今後の方向性について講演をいただき、特別講演Ⅱは『協同組合の社会性を考察する』と題して、協同組合の社会的責任やセーフティネットの果たす役割、被災地との関わりを中心に、消費者信用生活協同組合の上田専務からの講演をいただきました。2日目は、労働金庫、全労済、日本生協連、労協連、医療福祉生協連の5つの協同組合の役員による取り組みを紹介いただき、その後、「協同組合の展望と可能性」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

当面の主な活動予定

- 8月 1日（水）第93回新潟労福協理事会
- 2日（木）第188回東部ブロック労福協幹事会
- 3日（金） " "
- 8日（木）反貧困全国キャラバン
- ～11日（土） " "
- 8月30日（木）東部ブロック事業団責任者会議
- 9月14日（金）東部ブロック福祉リーダー塾
- 15日（土） " "
- 15日（土）第25回勤労者駅伝大会

パーソナル・サポートセンター 事業連絡会を開催 官民の領域を超えた広いネットワークを

内閣府の第3次モデル事業として、6月4日にスタートした新潟県パーソナル・サポート・サービスセンターは、新潟・長岡の両地域でPS事業連絡会を開催しました。

この連絡会には、官民の領域を越えた幅広いネットワークを構築し円滑な事業展開を図るため福祉行政機関および専門的立場の団体、市民活動団体など、連携を必要とする関係機関との情報交換および連絡・調整等を行うことを目的に多くの団体から参加いただきました。



新潟関係では、県と新潟地域合同の事業連絡会を6月15日に勤労福祉会館で開催し、関係団体から73

名の参加があり、長岡地域においては、6月19日に長岡市勤労会館で開催され40名の参加がありました。両連絡会では、県保健福祉課よりPS事業と事業連絡会の開催趣旨につ



いて、労福協から受託団体の概要およびモデル事業の現状と相談内容の特徴等について、それぞれ説明と報告がされました。

委託者（県）と受託団体（労福協）および参加された関係機関・団体との今後の連携と提携が確認できる事業連絡会となりました。

**地域に貢献するNPOや
市民活動団体の力になりたい！**

**2011年度「NPO等助成事業」は、
21団体に総額942.1万円を助成しました。**

【当財団の助成事業】

新潟県労働金庫からの寄付金1億円を基金に、平成15年から10年間の計画
毎年1,000万円をNPO等市民活動団体に助成することで、勤労者・県民の社会的・経済的・文化的地位の向上に寄与することを目的としています。

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 勤労福祉会館内
（財）新潟県勤労者福祉厚生財団

地域の幸せと力に

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる
勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 （平成24年6月末現在）

保証引受の内容	保証引受残高（千円）
無担保ローン	15,494,414
住宅ローン	110,733,716
合 計	126,228,130



〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地18

新潟県労働者信用基金協会

総合生協第58回通常総代会開催

6月12日（火）、ANAクラウンプラザホテル新潟にて総合生協の第58回通常総代会が開催され、総代441人中、委任状・書面議決書を含む411人の総代が出席されました。

2011年度の活動・事業報告および決算、剰余金処分案が承認され、総合生協2020年ビジョン（長期ビジョン）、2012年度の活動方針・事業計画・予算が決定し、定款の一部改正、総合（慶弔）共済制度の一部改正含めて全議案、承認可決されました。今年、国際協同組合年（IYC）です。

協同組合の発展に期待を寄せる多様な個人が幅広く連帯して、協同組合の価値や協同組合が現代社会で果たしている役割等について、広く認知され、協同組合を更に発展させる取り組みを行い、平和でよりよい生活の実現を目指します。



理念」に基づいた運動を展開し、経常利益21億77百万円、純利益15億34百万円を見込むと発表がありました。本通常総会

において金子理事長が退任し、江花和郎前労協協理事長が新理事長に就任しました。



連合新潟高齢者協議会 結成20年記念パーティー開催

連合新潟高齢者協議会の2012年度の運動方針を決定する第20回総会が7月24日（日）に新潟東映ホテルにて開催されました。高齢者を取りま



く情勢も年々厳しくなっている中、年金、医療、介護制度の充実、組織の拡大、健康年齢を伸ばすための多様な地域との関わり等についての方針が確認されました。その後、「結成20年記念パーティー」が泉田県知事、阿部会長（日本高齢・退職者団体連合会）をはじめ270名を超える多くの方が参加する中で盛大に開催されました。パーティーでは、これまでの20年を振り返るにふさわしい懐かしい面々が元気な姿を見せ、お互いの健康を讃えあっている様子が随所に見受けられました。

ろうきん第60回通常総会開催

県労働金庫は6月25日（月）、ANAクラウンプラザホテル新潟において第60回通常総会を開催し、第60期（2011年4月1日～2012年3月31日）業務報告、貸借対照表および損益計算書の報告を行いました。

経常利益は計画より2億61百万円多い30億57百万円。当期純利益は計画より69百万円上回る20億8百万円となり、剰余金処分後の自己資本比率は19.88%となりました。2012年度は創立60周年の節目の年であり、相互扶助の精神のもと社会的役割を発揮するよう「ろうきんの

勤労者の暮らしをサポート 育成会

（正式名称）

「勤労者とその家族の暮らしに役立つ活動を支援・育成する会」

- 育成会とは新潟労金に加入している団体会員（県内約2400会員）によって構成されています。
- 育成会には労金本支店所在地で活動する25の地区育成会があり、それぞれの地域で勤労者福祉の前進に関する諸活動を行っています。
- 育成会役員は各店舗ごとに設置された労金常任推進機構から選出されています。

夢咲Clubの案内

夢咲Clubは労金に加入していない勤労者の方が、労金を利用する際に加入いただくメンバーズクラブです。預金、給与振込、公共料金自動振替をはじめ、住宅ローン、マイカーローン、教育ローンなど、各種ローンのご利用ができます。

ご加入資格 県内に居住または勤務する勤労者の方。

ご入会（年会費はかかりません）

入会時に500円（加入金）が必要となります。



労金関係業務（育成会・夢咲Club）運営事務局 勤労福祉会館内

連絡先 Tel 025(281)1188

E-mail: ni-lscr@apost.plala.or.jp

営利より、働く人たちの生活を優先。 60周年を機に使命も新たに。

助け合う心こそが、
「ろうきん」の生い立ち。

さかのぼること戦後の混乱期、当時は金融機関も少なく、勤労者（いわゆるサラリーマン）が銀行から融資を受けることが大変難しい時代でした。そこで働く仲間がお金を出し合い「お互いの手助けをしよう！」と熱い心と想いを結集し、1950年に岡山と兵庫で「ろうきん」は誕生しました。「新潟ろうきん」はその2年後の1952年に設立。以来、一貫して働く人たちの福祉金融機関として、働く人とそのご家族の生活安定と経済的地位の向上を目的に事業を展開してきました。

ろうきんの理念は「相互扶助（助け合



創立総会（昭和27年5月）

りした資金は、大切な共有財産として住宅・マイカー・教育など働く仲間とそのご家族の生活を守り、より豊かにするた

めに役立てられており、それが、ろうきんの大きな特徴のひとつとなっています。

「ろうきん」だから
できることを次々と。

ろうきんの業務内容は、預金やローン、各種サービスなど様々ありますが、一般の金融機関とほとんど変わりません。しかし、営利を目的としない金融機関として、公平かつ民主的に運営され、お客様に喜んでいただける商品・サービスの提供で利益を還元しています。このしくみは、利用者が増えれば増えるほど、サービスが充実するメリットがあり、言わば、時代に合せて「助け合いのしくみ」が進化するといえます。

例えばATMの引出し手数料全額キャッシュバックをはじめ、ローンの繰上返済、通帳・キャッシュカード再発行などの各種手数料は無料にし、利用者の利便性向上を図っています。また中越地震・中越沖地震時のろうきん住宅ローン利用者へのお見舞金、マイカーローン利用時の交通遺児基金への寄附、子育て支援などを行っているほか、関連団体を通じて、社会福祉団体への助成や母子家庭などへの奨学金貸与、NPO団体への助成事業などにも取り組んでいます。

さらに特徴的なのは、多重債務者の救

済や未然防止への活動です。これは、ろうきん職員が講師となり、労働組合や会員事業所にとどまらず、中学校や高校などの教育施設へも



学習会の様子

60周年を機に、理念の実現に向けて活動をさらに充実。

新潟ろうきんでは、土曜、日曜でもロー

ン相談ができるローンプラザを県内5カ所に設置しています。ローンプラザ長岡は昨年の10月にリニューアルオープンしました。きれいで広々とした個々の相談ブースは、安心して相談できると利用者にも好評を得ています。さらに、子ども連れのお客様のために子どもが自由に遊べるキッズコーナーも設置



しました。その他にも全店統一の日曜ローン相談会を継続実施しているなど、働く人たち

のニーズに的確に対応できるよう、相談態勢の充実を図っています。

雇用・所得環境の改善が進まず、私たちの生活が不安にさらされている昨今、収入減少や離職を余儀なくされた方の生活の支援もうきんならではのといえる大切な仕事です。ローン返済方法の見直しなどにも積極的に対応し、働く人たちの生活をしつかりとバックアップしていきます。このように、常に働く人の目線に立ち、時代や社会のニーズや変化に対し迅速かつ真摯に対応してきたろうきんは新たな一歩を進めようとしています。

創立60周年を迎えた記念事業としては、作文コンクールや各営業店で独自のイベントを開催します。長い月日をかけて築いてきたお客様との信頼関係をベースに、働く人なら誰でも利用できる福祉金融機関として、その使命を果たし、存在意義をさらに高めていきたいという強い願いがあります。

働く人たちの味方になり、期待にこれまでに以上に応えていき、その名に恥じぬ、志と行動で、新潟で働く人たちの信頼を集め、深い関係づくりを進めていきます。



本店外観（新潟市中央区客居町）

ろうきんキャッシュカードは、
他行ATMお引出し手数料
全額キャッシュバック！

お引出し手数料は一旦口座から引き落としされますが、翌月25日にその金額を1ヶ月分まとめて口座に入金（キャッシュバック）いたします。

◎ご入金は、全国のろうきん、セブン銀行、ゆうちょ銀行とマークのある信金、信組等のATMでご利用（手数料無料）いただけます。

手数料 実質
0円

いつでも
平日・土曜・日曜・祝日、
利用時間に関係なく
どこでも
銀行・ゆうちょ銀行・信金・信組・
セブン銀行・イオン銀行・JA等

ホームページから
24時間「仮審査申込み」ができます！
新潟県労働金庫
新潟ろうきん 検索
☎0120-191-880
（平日9:00～17:00）